

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

## 2026 年度新入社員導入教育



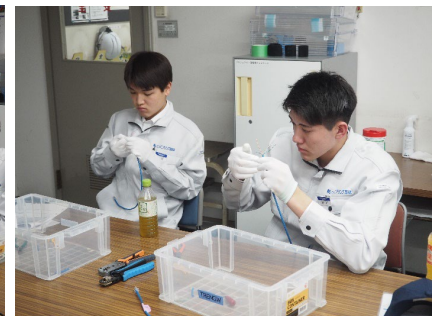
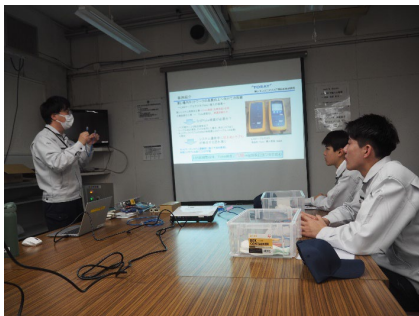
コンプライアンス・CSR学習

今年度の新卒新入社員を対象に、4月1日の入社式後から6日まで導入教育を行いました。

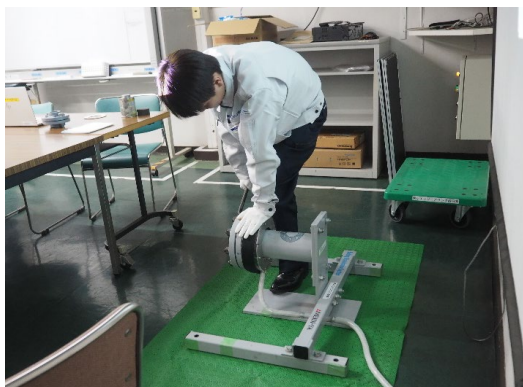
期間中は、座学を通じて安全や情報セキュリティなどの社内ルールや基本的な知識を学ぶとともに、LAN ケーブルの性能評価やボルト締結シミュレーターを使用した実技実習にも取り組みました。

導入教育終了後には配属先が通知され、今後はそれぞれの職場にて、業務内容に沿った研修が進められていきます。

なお、一部の座学については、昨年度キャリア採用で入社した社員も受講し、社内規則などの復習を行いました。



「実技実習」LAN ケーブル性能評価



「実技実習」ボルト締結シミュレーター

(担当部署：総務部 Tel:077-534-0956)





### 保全事業 豆知識 15 『熱中症対策について』

当社が保守を行う工場の現場には、WBGT 値 28°C（嚴重警戒）以上となる高温多湿な環境が複数存在します。これらの現場では、手工具を用いた継続的な腕作業や、10kg 前後の材料を運搬するなど、代謝率の高い作業が多く、WBGT 値 28°C以上の環境下では熱中症リスクが一層高まります。

そこで、熱中症リスクの低減対策について検討を行い、調査の結果、水冷服に着目しました。あわせて、近年急速に普及している空調服との比較を実施した結果、高温多湿環境においてツナギ服を着用する場合には、水冷服がより優位であると判断し、導入に至りました。

その結果、現在では作業員全員が、涼しさと作業性の両立を実感しています。

	空調服	水冷服
		
冷却方法	風で汗を気化させ冷却	チューブに流れる水で冷却
適した環境	温度もしくは湿度が高すぎない	高温多湿
適した服装	コンプレッションウェア等の上に着用 つなぎの上から着ると、風が強くないと涼しく感じない	コンプレッションウェア等の上に着用 つなぎの上からでも涼しい。写真では普通の衣服の上から着用
持続時間	8.0時間以上	2.5~3.0時間程度 (ボトル入替で延長可能)
重量	約0.6kg	約2.0kg